

事業所名

放課後等デイサービス：かいんどはびすま

## 支援プログラム

作成日

令和7年

3月

10日

法人（事業所）理念		<p>「かいんどはびすま」とはkindness make a happy smile～やさしさが しあわせな 笑顔をつくる～          発達障害のお子様そして保護者に寄り添い、苦手なことやできないことも個性の一つと考え、ゆっくりステップでできることを増やせるようにする。また、たくさん賞賛することで自信をつけ、自己肯定感を高められるようにする。温かく優しい気持ちで子どもたちに寄り添うことで子どもたちのしあわせな笑顔を導き出すことができるようにする。このような理念の下、日々職員が共通理解を図りながら、楽しく子どもたちと共に成長できる施設を目指している。          ○住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、地域福祉の推進に努める。          ○人間としての尊厳と社会連帯の思想を基本に、公平公正な運営を目指す。          ○ご利用者の基本的人権を尊重し、個々の能力に応じ日常生活に必要な福祉サービスの提供に努める。          ○職員の資質向上を図ると共に、一人一人が目標を持ち質の高いサービスを提供できるように努める。</p>													
支援方針		<p><b>凸凹〈個性〉に寄り添う学び</b>          ・できること、苦手なことその一つ一つを「個性」ととらえ、自信を持たせ自己肯定感を高める。          ・お子様だけでなく保護者の皆様、ご家族の皆様へ寄り添い、笑顔で生活できるように努める。          ・お子様にとって楽しく興味関心をもてる療育プログラムの提供や、安心して生活できる場、関われる人を増やせるようにする。          ○心に寄り添うケア      ○心が通うケア      ○心が温かくなるケア          ○心が明るくなるケア      ○心と心を結ぶケア      ○心から愛され応援されるケア</p>													
営業時間		平日	9	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎が有りの際は 下妻市、常総市、八千代町、筑西市 (片道30分の範囲内での送迎)	
		祝日	8	時	50	分から	16	時	50	分まで					
支 援 内 容															
健康・生活		<p>①通所児の検温、顔色、表情の確認、言動から健康状態や心身の状態を把握するとともに、自ら体調について伝えることができるようにする。また、体調の変化があれば受診を促したり、保護者への報告など適切な対応を行う。          ②SSTやコミュニケーション向上のためのゲームなどを行うことで、あいさつの仕方やお願いの仕方など、人と人との関わりの中で必要となる生活スキルを習得し向上できるようにする。          ③気温に合わせた衣服の着脱、衣服のたたみ方や片付け方をボタン、ファスナー、リボンしばりなどを習得できるようにする。          ④手洗いやうがい、歯磨き、食事の仕方など基本的な生活習慣の目指すことができるようにする。          ⑤活動の準備や片付け、持ち物の整理整頓やていねいな物の扱いなどが進んでできるようにする。          ⑥食事やおやつ時間は、用途に合わせたはしやスプーンなどを選択して使ったり食事のマナーを身に付けるようにする。咀嚼、嚥下、姿勢保持など食事を取れるようにする。          ⑦様々な遊びや体験活動の準備や片付けが得意的にできるようにする。</p>													
運動・感覚		<p>①体幹トレーニングや手押し車などADLトレーニングを行い、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化をできるようにする。          ②椅子やクッション等の用具やストレッチ運動などを行い姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるよう支援する。          ③サーキットトレーニングや、バランスボール、バランスボードなどを使い、自力での身体移動や歩行、歩行器や車いすによる移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行う。          ④保有する視覚（積み木・お手玉・ビジョントレーニングなど）、聴覚（楽器の音・音の出る絵本、カード）、触覚（ねんど・砂遊び・新聞遊び・ブロック遊び）等の感覚を十分に活用できるように、遊び等を通して支援する。          ⑤保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう眼鏡や補聴器等の各種の補助機器（拡大鏡など）を活用できるように支援する。          ⑥感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等（イヤーマフ、個室での対応）の支援を行う。</p>													

本人支援	認知・行動	<p>①一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う。</p> <p>②音楽療法、手指の巧緻性を高める工作、ゲーム絵を描いたり、造形活動等やアニマルセラピーなどを取り入れ、感覚の活用や認知機能の発達 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行うようにする。</p> <p>③視覚支援や空間、時間の概念の形成、見通しを持つこと、形や重さのマッチングをトレーニングし、知覚から行動への認知過程の発達 取得した情報を過去に取得した情報と照合し、環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるよう支援を行うようにする。</p> <p>④感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応の支援を行うようにする。</p>	
	言語 コミュニケーション	<p>①障害の種別や程度、興味・関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種のカードや写真等を用いてコミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるようにする。</p> <p>②話し言葉や各種の文字・記号等をカードゲーム用いて、相手の気持ちを理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるようにする。</p> <p>(c) 言語の形成と活用</p> <p>③コミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動を言語化できるようにする。</p> <p>(d) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p> <p>④SSTやコミュニケーション向上のためのトレーニングを行い、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行うようにする。</p> <p>⑤言葉遊びゲームや、こんな時どうするゲームなど身振り、サイン、音声、文字等を活用し、コミュニケーションの取り方を習得できるようにする。</p> <p>⑥様々な体験活動への参加から人間関係の構築に努め、伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握することが重要であることから、場や相手の状況に応じて、自らコミュニケーションを展開できるようにする。</p> <p>⑦発達障害のあるこどもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のために個別療育でていねいな学習支援を行う。</p>	
	人間関係 社会性	<p>①環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行うようにする。 また、不安を相談したり気持ちの切り替えができるように「信頼できる人・安心できる場」を作れるようにする。</p> <p>②気持ちの安定やイライラしたときの気持ちの落ち着かせ方をマインドフルネスなどを使い自分自身でできるようにする。</p> <p>③周囲の人の気持ちを理解し、周囲の人の働き掛けを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるようにする。</p> <p>④遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を図れるようにする。また、感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達につなげられるようにする。</p> <p>⑤一人遊びからカードゲームや集団運動遊び等を通して協同遊びへ移行し徐々に社会性の発達を支援できるようにする。</p> <p>⑥自分のできることや苦手なことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、様々な場面でたくさん褒めることで、自己を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるようにする。</p> <p>⑦集団生活に必要な手順やルールを理解し、少しずつ遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるようにする。</p>	
家族支援	<p>○アタッチメント（愛着）の安定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの信頼感を育むとともに、こどもの感情や不安に寄り添い、家族や周囲の人と安定した関係を継続するための支援する。</li> </ul> <p>○家族からの相談に対する適切な助言等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助</li> <li>・こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援</li> <li>・こどもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案</li> <li>・家族のレスパイトの時間の確保や就労等による預かりニーズに対応するための延長支援</li> <li>・心理的カウンセリングを実施する。（随時）</li> </ul> <p>・保護者おしゃべり会を実施し、保護者同士の交流の機会の提供する。（1回/3ヶ月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだい同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助を行う。</li> </ul> <p>○障害の特性に配慮した家庭環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座、ペアレント・トレーニングを実施する。</li> <li>・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供をする。</li> </ul>	移行支援	<p>○放課後児童クラブ等への移行支援、ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な移行や将来的な移行を見据えたこどもの発達の評価・支援</li> <li>・具体的な移行先との調整を行う。</li> <li>・移行先との支援方針・支援内容の共有や、こどもの状態・親の意向・支援方法についての伝達を行う。</li> <li>・家族への情報提供や移行先の見学調整を行う。</li> <li>・移行先の受け入れ体制づくりへの協力を行う。</li> <li>・移行先への相談援助を行う。</li> <li>・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助を行う。</li> </ul> <p>○放課後児童クラブ等と併行利用している場合における併行利用先との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・併行利用先とのこどもの状態や支援内容の共有を行う。（例：得意不得意やその背景、声掛けのタイミングやコミュニケーション手段の共有）</li> <li>・併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整を行う。</li> </ul> <p>(c) 同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校や放課後児童クラブ、児童館、地域住民との交流を行う。</li> <li>・地域ワークショップへの参加を行う。</li> </ul>

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>○通所する子どもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが通う保育所等や通う予定の学校・放課後児童クラブとの情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、児童発達支援計画の作成又は見直しに関する会議の開催を積極的に計画し行う。</li> <li>・子どもを担当する保健師や、子どもが通う医療機関等との情報連携や調整を行う。</li> <li>・子どもに支援を行う発達障害者支援センターや医療的ケア児支援センター、地域生活支援拠点等との連携を行う。</li> <li>・子どもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携を行う。</li> <li>・虐待が疑われる場合には、児童相談所や子ども家庭センターとの情報連携に努める。</li> <li>・児童委員、主任児童委員等地域の関係者等との連携を行う。</li> <li>・個別のケース検討のための会議を積極的に開催する。</li> </ul>	<p>職員の質の向上</p>	<p>○年間研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止（身体拘束）に関する研修</li> <li>・事故防止に関する研修</li> <li>・感染症に関する研修</li> <li>・防犯に関する研修</li> </ul> <p>○月間研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい全般に関する研修</li> <li>・保護者支援“ペアレントトレーニング”に関する研修</li> <li>・各自外部で受けた研修内容の共有</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他施設交流において、職員間の研修の実施</li> </ul>
<p>主な行事等</p>	<p>1月 初詣 七草がゆ 2月 豆まき 3月 おひな祭り 卒園、卒業式祝い 4月 入学式 進級祝いお花見 5月 こどもの日 6月 アジサイ祭り 7月 七夕 夏祭り体験 8月 バーベキュー体験 東京探検 9月 お月見 10月 ハロウィン コスモス畑 11月 七五三 消防署見学 12月 クリスマス 餅つき 正月飾り作り  (年中行事を各月実施) ・親子心肺蘇生法体験 ・他施設交流会 ・地域のワークショップ参加 ・保護者おしゃべり会 ・親子制作活動</p>		